

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。

デフ (Deaf) とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。

デフリンピックは国際的な

「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」なのです。

国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD) が主催し、

4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際スポーツ大会です。

第1回は、1924年にフランスのパリで開催されました。

東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、

日本では初めての開催になります。



大会ロゴ

デフリンピックとは | [東京2025デフリンピック 大会情報サイト](#)

大会の概要・計画 | [東京2025デフリンピック 大会情報サイト](#)

デフリンピックとは？

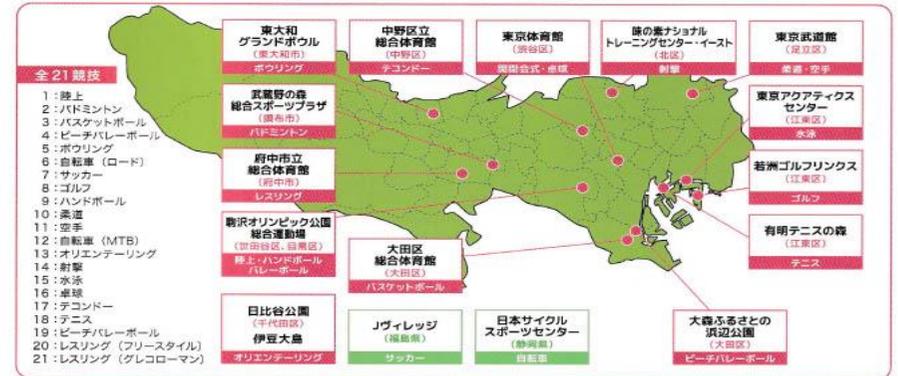
きこえない、きこえにくいアスリートのための国際的な総合スポーツ競技大会。
 デフ (Deaf) は、英語で「耳がきこえない」という意味。国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD) が主催し、
 デフリンピック運営委員会 (全日本ろうあ連盟) とデフリンピック準備運営本部 (東京都スポーツ文化事業団) が
 全日本ろうあ連盟と東京都と連携し、大会準備及び運営を進めています。

数字でみるデフリンピック

東京2025デフリンピックは **100周年** 記念すべき大会!

開催頻度 4年ごと <small>夏季大会と冬季大会を2年ごとに開催</small>	日本の前回大会のメダル数 30個 <small>金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル10個を獲得</small>	大会の参加選手数 約3,000名 <small>審判やスタッフ等を含めると各国選手団は約6,000名</small>
今まで開催された国・地域 26カ国・地域 <small>夏季大会20カ国・地域、冬季大会12カ国・地域、日本では初の開催!</small>	出場資格 きこえる一番小さな音が55dB以上 (デシベル) <small>定められた出場資格を満たしたデフアスリートが出場可能。*dBは聴力を表し、数字が大きいほどきこえにくい。補聴器等の使用は競技中禁止。全員が公平にきこえない立場で競技する。</small>	東京2025大会の競技数 21競技 <small>サッカー、水泳など視覚的情報保障以外はオリンピック同様のルールで実施。笛の音など音声できこえないため、スタートランプや旗などを使った視覚による情報保障を用いる。</small>

東京2025デフリンピック競技会場



東京2025デフリンピックを通して目指すもの

みんなとつながる <small>手話言語への理解促進、西語や障害を超えたスムーズなコミュニケーションを実現するデジタル技術を活用する。</small>	世界の人々が出会う <small>芸術文化や食、観光資源など、東京の持つ多彩な魅力を感じてもらい、世界との絆を深めていく。</small>	子どもたちが夢を見る <small>子どもの競技観戦や、選手入場時のエスコートキッズなどの機会を設け、デフスポーツの魅力を感じてもらおう。</small>	未来へつなぐ <small>デフスポーツやきこえない・きこえにくい人の文化への理解促進、環境への配慮などに取り組むことで、「未来につながる大会」を実現する。</small>	みんなで作る <small>多様な人々がボランティアとして活躍できる機会を設け、多くの国民の理解と参加のもと大会を創り上げる。</small>
---	---	---	--	---

デフリンピックやデフスポーツへの理解のすそ野を広げ、障害のあるなしに関わらず、共にスポーツを楽しみ、互いの違いを認め、尊重しあう共生社会づくりに貢献する